

1. 学校経営理念

学校は、将来の社会を担うかけがえのない子どもたちのためにある。

教職員は英知と誠意を結集して、子どもたちの確かな成長をめざす。

学校・家庭・地域は連携して、子どもたちが誇りに思う魅力ある東陵小学校づくりに努める。

2. 教育目標

人間愛に基づき、豊かな情操と高い知性に根ざした、たくましい心と体をもった実践力のある子どもを育成する

「めざす児童像」

- ・ よく考える子（いろいろなことに興味・関心をもち、意欲的に学び、自分の考えがもてる子）
- ・ 思いやりのある子（命を大切にし、思いやりの心、感動する心、善悪を判断できる心をもった子）
- ・ がんばりぬく子

（新しいことや困難にも立ち向かい、やり遂げようとする強い意志と身体をもった子）

3. 中・長期経営目標

（1）学校の現状と児童に関する目標

- ① 一人ひとりが、生き生きと授業に参加し、確かな学力を培う。

学習習慣や学力等において、さらに高めていかなければならない本校の子ども達の実態から、自ら進んでコツコツと努力をして基礎基本に習熟する力と、それを基盤に意欲的に学習に取り組み思考・判断・表現等の活用する力を育てる。そこで教師は自己研鑽し授業力を向上させ、一人ひとりが意欲をもって参加する授業を創り上げ、確かな学力を育成する。

- ② 命を大切にし、人として生きていくための豊かな心を育てる。

本質的には活力に満ち純粋で素直な心をもった子ども達である。そのような実態を基盤に、命を大切にする心、自己肯定感と他者肯定感、規範意識や思いやり、感動する心を育てる。そこで、道徳教育を全教育活動で行い、縦割り活動・体験学習・読書活動・地域学習などを通して、豊かな心を育て、楽しい学級・楽しい学校生活を創り上げる。

- ③ 人間関係力とたくましい心身の育成。

身体を動かして遊ぶことが好きな子ども達である。そのような実態を基盤にさらにいろいろな友達と仲良く遊んだり、新しいことに挑戦したり、努力して最後までやり遂げたりする力を育てる。そこで、体育の授業の充実と運動の日常化、外遊びを中心として人間関係力を向上させ、健康な心身を育成する。

（2）教職員・学校組織等の望ましい在り方

- ① 学校教育目標・方針を理解し、組織の一員として相互理解の中で、互いの持ち味を發揮して、学校づくりに貢献する。

- ② 自己研鑽に励み、授業力を向上させ、学習効果を高める創意ある教育環境づくりに努める。

- ③ 子ども理解の下、個を大切にされた教育実践の中で、集団としての高まりを創りあげる。

- ④ PDCA のサイクルを意識し、常に改善を図ろうとする姿勢をもって教育活動に臨む。

- ⑤ 学校を地域に開き、「学びの共同体」としての学校づくりを行い、広く情報を公開する。

- ⑥ 教育公務員として常に厳正な服務に努める。

4. 短期経営目標（今年度の重点目標）

「いつでも、どこでも、だれでも」継続的に一貫した指導を行なう。

(1) 組織的な学校運営

- 全教職員が学校教育目標を理解し、その具現化に努める。
 - ・ **主任を中心とした組織の中で、相互信頼の下、それぞれの持ち味を発揮する。**
 - ・ 自己研鑽に励み、研修成果を共有して、相互に切磋琢磨して力量を高める。
 - ・ 危機管理マニュアルを熟知し、適切な訓練を通して、迅速な対応がとれるようにする。
 - ・ 保護者との連携を密にし情報と協力を得て、児童が納得できる生徒指導の実践と適切な教育相談を行なう。
 - ・ 学校教育活動及び学校経営についてPDCAサイクルを意識して適切な評価を行い、課題解決に努める。

(2) 確かな学力の育成

- 基礎基本を確実に身に付け、思考力・判断力・表現力等の活用する力を育てる。
 - ・ **算数科を中心に基礎基本の習熟に心がけ、授業の中に習熟の時間をとり、その基礎基本を土台に、思考力・判断力・表現力等の活用する力を育成する。また upup タイムでは計画的に基礎学力の定着を図る。**
 - ・ 教職員は自己研鑽に励み、子ども達が学習したくなる授業をめざし、授業力を向上させる。(話したくなる、聴きたくなる、書きたくなる授業)
 - ・ 授業においては、ねらいを明確にして形成的評価を行い、指導と評価の一体化を図り授業を工夫改善していく。
 - ・ 授業の中に言語活動を効果的に取り入れ、伝え合い認め合う言語活用力の育成に努める。

(3) 豊かな心の育成

- 命を大切に、自己肯定感をもち、自らを律しお互いに理解し合う中で、認め合う心や、美しいものに感動する心を育てる。
 - ・ **授業を中心に認め合い、励まし合いの人間関係力を向上させ、生き生きと楽しい学級づくりをする。**
 - ・ 縦割り活動など学年を越えた様々な取り組みの下、主体的実践的な態度と共に人間関係力を向上させる。
 - ・ 道徳の授業を充実させ、全教育活動で道徳教育を行い、命の尊厳と大切さ、善悪の判断力、美しいものに感動する心を育てる。
 - ・ 読書の授業や朝読書を中心に読書活動を充実させ、豊かな言葉と豊かな心を育む。

(4) たくましい身体の育成

- どんなことにも挫けず、たくましくやり抜いていく心と身体を育てる。
 - ・ **体育授業の充実により、運動の楽しさを味わわせ、運動意欲と体力の向上を図る。**
 - ・ スポチャレや一校一プラン、外での集団遊びを進め、運動の日常化により、体力と人間関係力の向上を図る。
 - ・ 食育の学習を通して食と健康について考え、基本的生活習慣の定着と、自己の生活改善につなげる力を育てる。
 - ・ 学校内外を問わず、危険を察知し自分の身は自分で守る能力を育てる。

(5) 家庭・地域との連携

- 基本的な生活習慣を身に付けものごと主体的に取り組み、善悪の判断ができる子を育てる。
 - ・ **家庭・地域と連携して、自然にあいさつのできる子を育てる。**
 - ・ 家庭と連携し、基本的生活習慣の定着と同時に家庭学習の習慣化を図る。
 - ・ 授業参観、学校公開、各お便り、学校評価などを通して、家庭・地域に学校教育活動を知らせ、地域に開かれた学校づくりに努める。
 - ・ 学級懇談会では、学校や家庭の情報交換をして、課題を共通理解し、解決に向けて話し合う場とする。

